

環境対策、コスト削減に! 今まで捨てていた
クリーニングペーパーを洗浄リユース

実装ラインで使用する、クリーニングペーパー洗浄機

特徴

- ペーパー1本を洗浄し、5回再使用した場合、年間3,192,750円のコスト効果が可能
- 焼却処理によるCO₂排出量削減効果は、年間514kg-CO₂

概要

(技術の原理・動作等)

1.工程

- ①洗浄工程:超音波の剥離作用による、クリーニングペーパー(不織布)に付着したクリーム半田の除去。
- ②乾燥工程:筐体内での吸引乾燥

2.製品仕様

- 装置外形 W851×D827×H1,100mm
 装置重量 100kg(乾燥重量)
 被洗浄物 クリーニングペーパー(不織布)
 幅:250~410mm対応、芯内径φ38mm
 最大巻き外形φ110mm
 電源 AC100V、50/60Hz、250VA、アース付き
 超音波 40kHz、150W
 エアー 0.4MPa、500NL/min
 排気ダクト 1箇所、φ98mm、必要排気風速5m/sec
 洗浄時間 約25~30分/本*(18mタイプ)
 ※洗浄液:グリコール系使用

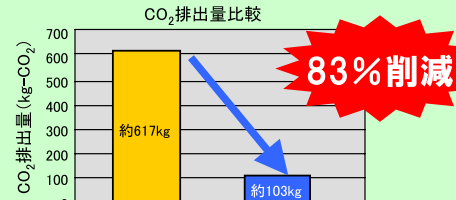


エコロール SC-ER360W



環境メリット

焼却処理による CO₂排出量削減効果(年換算)



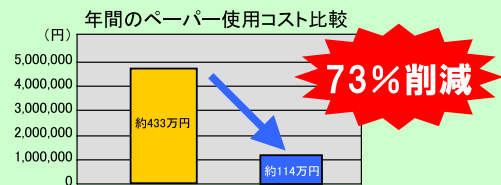
CO₂削減(年換算)・・・約514kg ※2

※2 上記メリットは一例です。条件により効果は変わります。



コストメリット

5回再使用した場合の 1年のランニングコスト比較



コスト削減(年換算)・・・約3,192,750円 ※1

※1 条件:ペーパーロール単価:6000円(18m)、1日3本使用、1ヶ月20日稼働
産業廃棄物費用単価:20円(1本換算)、使用洗浄液:グリコール系の場合

エコロールメリットグラフ

導入実績

- P社(日本、中国、メキシコ)
- D社(アメリカ)
- M社(中国)

効果

- ◎現状、SMTの製造現場で広く使用されている半田拭き取り用のクリーニングペーパーは、一般的に1回拭き取り後廃棄、または他の清掃用ペーパーとして使用している。
このクリーニングペーパーを再生することで「環境対応」と「コスト削減」の課題を解決
- ◎設備費を上回るコスト効果を実現
- ◎廃棄(焼却)時に発生するCO₂を6分の1に削減

適用分野
電気・電子機器製造企業の実装ライン工場

水

省エネ・エネルギー回収

蓄エネ・創エネ

新エネルギー

廃棄物処理
再資源化/資源

大気

土壌

その他

株式会社サワーコーポレーション 営業部 〒573-0128 大阪府枚方市津田山手2-17-1

● TEL / 072-859-7286 ● FAX / 072-859-7287 ● E-Mail / info@sawa-corp.co.jp http://www.sawa-corp.co.jp/

※留意事項:本書は環境・エネルギー問題の解決のお役に立てると考えられる事例(技術・製品等)を紹介するものであり、これらについて移転・販売することを保証するものではありません。